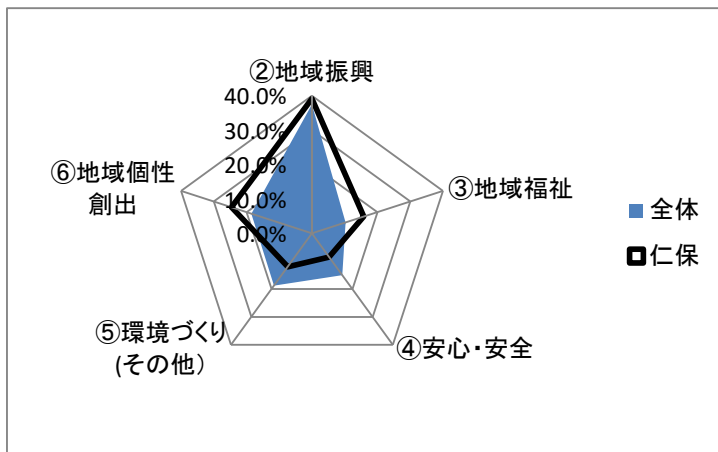


## 仁保自治会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,911人	自治会数	23
世帯数	1,065世帯	自治会加入率	91.2%

※数値は、令和3年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	9,743,000 円
交付金決算額	9,282,736 円
その他収入	9,139 円
交付金決算額／配分額	95.3%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,198,328 円
②地域振興	988,689 円
③地域福祉	399,076 円
④安心・安全	213,721 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,568,000 円
⑤環境づくり(その他)	302,836 円
⑥地域個性創出	621,225 円
決算総額	9,291,875 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!!

### ■総括

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!! ～ 仁保に胸キュン～」をキャッチフレーズに、仁保に住みたい、住み続けたいと思えるような、住み良い地域づくりを進めていきます。

令和2年度は第3次地域づくり計画の初年度で、地域の課題に対し、計画に基づき地域の活性化、また安心して生活できる環境づくりを、コロナ禍の中感染症対策を講じながら、積極的に進めてきた。

新たな取り組みとしては、第3次地域づくり計画に沿う事業に取り組むグループを公募し、地域の活性化に貢献をしていただき、好評を得たところです。

新規公募グループに対し活動の支援を行い、特に幅広い年齢層の子ども達に向けた支援で地域づくり計画を推進していくことができた。

今後もこうしたやる気を持った団体に対し、引き続き支援を行っていきたい。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	地域広報事業、地域交流促進事業、地域振興事業
③ 地域福祉	高齢者福祉事業、青少年等健全育成事業、青少年交流促進事業、健康増進事業
④ 安心・安全	交通安全推進事業、防災対策事業、防犯対策事業
⑤ 環境づくり	土木環境整備、美しい環境づくり推進事業、環境維持保全事業、
⑥ 地域個性創出	地域イベント活性化事業、歴史文化伝承事業、嘉村磯多生誕120周年記念植樹式典

■重点的に取り組んだ事業

	事業名	情報発信事業	決算額	339,197円
	目的	令和2年度からの「第3次仁保地域づくり計画」の印刷を行い、地域住民への周知徹底を図る。また、広報誌やホームページ等を活用し広報活動の充実を図る。		
	実施内容	第3次仁保地域づくり計画を印刷し、周知に努めた。交流センターが発行する仁保だよりを活用することで住民が地域情報を共有し、地域づくり活動への理解と参加が促進できた。年2回の自治会だよりと、HP・Instagramを更新しPRに努めた。仁保の里カレンダーを全戸配布した。		
①	実施時期	通年		
	参加人数	地域内戸数 約1000戸		
	成果	仁保自治会だより年2回発行、HP・Instagram随時更新		
	評価	HP等で地域情報を適時に地域内外に発信することにより、住民の地域意識が醸成されている。		
	今後に向けて	SNSで魅力ある情報を発信していきたい		
	事業名	地域交流促進事業	決算額	520,802円
	目的	写真コンテスト等を通じ地域紹介を積極的に行うことで、交流人口の促進に努める。また、公募により独自に地域内外との交流を行っているグループを支援し、交流人口の拡大、地域の活性化を図る。		
②	実施内容	地域の交流人口を増加させ、地域活性化を図った。写真コンテストの実施。新規公募グループ(にほかあさんの会、ふれあいサロン、仁保んオープン)が活動に参加した。		
	実施時期	4月～3月		
	参加人数	-		
	成果	写真コンテスト応募119点。新しいグループが活動に加わった。		
	評価	写真コンテストでは多数の応募があった。		
	今後に向けて	地域交流を一層促進するために、積極的な各団体の活動を支援していきたい。		
	事業名	環境維持保全事業	決算額	262,515円
	目的	地区内の河川や川土手の草刈りを積極的に行う。また犬鳴の滝散策道やふれあい館周辺の清掃活動、環境の維持保全を行うことで、関係者、利用者の利便性を図る。		
	実施内容	河川草刈整備、犬鳴の滝散策道清掃(6・3月)		
	実施時期	5月～3月		
③	参加人数	約300人		
	成果	河川の草刈りをすることによって水害防止と環境美化が図られた。犬鳴の滝散策道を清掃し、散策しやすくなることで、登山者への利便性の向上を図ることができた。		
	評価	河川の草刈りをするにより、土砂の堆積を減らすことができた。		
	今後に向けて	今後も引き続き環境整備に取り組み、関係者、利用者の利便性の向上に努めていきたい。		